

陣屋の日 楽しめましたか？

仙台 白老陣屋 版

台風を気にしながらの開催でしたが、今年は関係者を含め100余名の方が来場されました。恒例のせんべい焼きやお抹茶は人が途切れることもなく、また記念品のオリジナル絵馬や草だんごも早々に品切れとなりました。白老ホース愛好会にご協力いただいた乗馬体験も、大人から子供まで大好評の企画となりました。

来年度に向け、これからも色々と企画を練っていきたいと思います。どうぞお楽しみに。



＜虎杖浜越後盆踊り保存会の演舞（上）＞



＜白老ホース愛好会による乗馬体験（右）＞

＜オリジナル絵馬を以ってポーズ（下）＞



（炭火でせんべい焼き（右上））
（サリカリアによる史跡の草花展（右下））
（お抹茶と団子で一息（左））

第111号
(平成26年9月号)
発行: 仙台藩白老元陣屋資料館
〒059-0912 白老町陣屋町 681-4
TEL&FAX 0144-85-2666



津軽からの小さなお客さん

白老町と歴史姉妹都市の関係にある青森県つがる市から、小学5年生23名が陣屋資料館へ訪れました。

慣れない長旅でやや疲れ気味にも見えましたが、火薬庫まで足を伸ばすなど、大いに関心を持って史跡を散策。感想文やしポートの素材にするのでしょうか、学校でもまだ習っていないような初めて聞く歴史の話にも耳を傾け、真剣にメモを取る姿が印象的でした。北海道が蝦夷地と呼ばれていたことや、勝手に住んだりしてはいけない場所だったことなど、本州の学校では習わないかも知れない北海道の歴史を、驚きとともに学んでくれました。



〈陣屋の跡を探検中。広さにも驚き〉

た。仙台藩士と同じように、津軽の藩士も蝦夷地に陣屋を作っていたことが一番のニュースだったようです。2泊3日の長いようで短い夏の北海道旅行は、一生の思い出になったことでしょう。

今年の巡回展は 史跡白老仙台藩陣屋跡！

今年も巡回展の季節がやってきました。これまでは主に数万年前の白老で暮らした人々が残したものを紹介してきましたが、今年はぐんと時代が新しくなり、仙台藩の陣屋跡から見つかった、お皿などの日用品を展示します。資料館では発掘された当時の資料を公開していませんので、今回の展示もまた、普段はご覧いただけない貴重な品ばかりです。復元工事や発掘調査の様子、また陣屋跡が史跡として登録された頃の周辺の景色などの写真も、これを機会にお楽しみください。

9月から10月末までは、例年のように小中学校のスペースを借り受けて巡回します。それぞれの期間については資料館HPでお確かめ下さい。



〈おろし金(上)とキセル(下)〉



不定期連載 白老再発見

【文久元年の石塔】

「北海道の絵馬」展はご覧いただけましたでしょうか？ 北海道には石塔や仏舎利など、大型の奉納品もたくさん残されています。陣屋跡にも御備頭であった氏家秀之進が、部下らと共に塩釜神社に奉納した石塔が残されています。



数回にわたり白老へ赴任した氏家ですが、文久元(1861)年は5代目御備頭として3回目の着任にあたります。石塔の竿(胴部)には十数人の名前が刻まれ、150年を経た今でも比較的克明に読み取ることができます。

「仙台陣屋かわら版111号(平成26年9月号)」

発行日:平成26年8月22日(金)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館

担当者:平野・亀井

<http://www.town.shiraaihokkaido.jp/bunka/inye/>

Mail: inye@town.shiraai.jp

TEL:011-260-2100